

道路28 国道56号の二次改築(愛媛県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
愛媛2	建設省四国地方建設局大洲工事事務所編「大洲工事五十年史」(建設省四国地方建設局大洲工事事務所、1994年)、222頁	<p>国道56号松尾バイパス (中略) このバイパスの完成により区間延長は松尾峠越えのカーブの多い現国道(延長6km)に比べて約2km短くなり、所要時間も12分から4分に短縮された。</p>
愛媛119	津島町誌編さん委員会編「津島町誌改訂版」(津島町、2005年)、554-556頁	<p>国道五六号松尾バイパス (中略)このバイパスの完成によって、これまで二分もかかっていたのがわずか四分に短縮され、ドライバーは快適で安全な走行ができるようになった。このトンネル(延長一七〇メートル・幅員九メートル)の完成は、その後各方面において大きな役割を果たしていった。</p> <p>自転車専用道路 建設省の宇和島国道事務所が芳原川堤防を利用して建設していた「歩行者・自転車専用道路」が、昭和五十年二月三日に完成した。(中略)このことにより、安全で快適な自転車通学ができるようになった。同専用道沿線には、サツキ、キョウチクトウ、クチナシなどの花木一三〇〇本が植えられており、当時に比べると人数は減ったものの、今も多くの中高生が花と緑に囲まれて通学をしている。</p> <p>嵐坂歩道トンネル (中略)この嵐坂歩道トンネルの開通によって、これまで危険とされてきた箇所(筒所)の通行がなくなり、大きな車も気にすることなく安心して通行ができるようになった。</p>
愛媛124	続・城辺町誌編集委員会編「続 城辺町誌」(城辺町、1983年)、164頁	<p>国道56号城辺・御荘バイパス (中略) このバイパスの完成によって、城辺町の繁華街を通過する車両交通量は緩和され、交通事故の減少と地域住民の安全な生活が確保できたのである。また、高知市を起点とする宇和島、松山に至る延長289.8kmの国道56号線は、広域の物資、資材等の輸送はもちろんのこと、生活文化の交流に一段と拍車をかけ地域の発展に役立っている。</p>

道路28 国道56号の二次改築(愛媛県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
愛媛151	国土交通省四国地方整備局編「一般国道56号一本松町改良(事後評価)」(平成17年度第1回事業評価監視委員会資料、2005年)、5頁	<p>国道56号一本松町改良の事業効果</p> <p>(1)円滑なモビリティの確保 線形改良等の効果により、交通量が分散され、年間渋滞損失時間が改善された。 バイパス整備により、旧道の交通量が減少し、バスの通行が円滑になった。 特急停車駅である宇和島駅、宿毛駅等の交通拠点へのアクセスが向上した。 高速道路等の整備と相まって、第二種空港である松山空港までのアクセスが向上した。</p> <p>(2)物流効率化の支援 重要港湾である宇和島港および宿毛湾港へのアクセスが向上した。 農林業を主体としている愛南町においては、農作物の流通が効率化でき、品質を保った状態での出荷が可能となった。</p> <p>(3)国土・地域ネットワークの構築 線形改良等の効果により、宇和島市と宿毛市間のアクセスが向上し、県境を越えた地域間交流がなされている。 一本松町改良の整備により、線形改良・幅員確保がなされ大型車が安全にすれ違うことが可能となった結果、大型車の交通量が約2.3倍に増加した。 愛南町から宇和島市、宿毛市への所要時間が短縮され、アクセスが向上するとともに、宿毛市からも、買物やレジャー客が一本松町改良を利用して愛南町へ行く機会が増えた。</p> <p>(4)個性ある地域の形成 周辺観光地へのアクセスが向上。 あけぼの荘(町営)の入込客数が増加。</p> <p>(5)安全で安心できるくらしの確保 三次医療施設である南予救命救急センターへより早く、より安全に救急患者を搬送することが可能となった。</p> <p>(6)安全な生活環境の確保 現道区間は道路線形が非常に悪く、交通の難所になっていたが、一本松町改良の整備により道路線形の改良と道路幅員の確保、歩道設置等により、安全性・快適性が向上した。</p> <p>(7)災害への備え 国道56号は、愛媛県の緊急輸送道路ネットワーク計画における「第一次緊急輸送道路」の一部を担う</p> <p>(8)地球環境の保全 一本松町改良の整備により、自動車からのCO2排出量は、746t-CO2/年削減された。</p> <p>(9)生活環境の改善・保全 一本松町改良の整備により、現道における自動車からのNO2およびSPM排出削減率は、それぞれ86%となった。</p> <p>(10)その他 愛南町と宿毛市の地域間交流が盛んである。</p>

道路28 国道56号の二次改築(愛媛県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
愛媛166	国土交通省四国地方整備局編「一般国道56号大洲道路(事後評価)」(平成21年度第3回事業評価監視委員会資料、2009年)、7-15頁	<p>国道56号大洲道路の事業効果</p> <p>(1)交通混雑の緩和 大洲道路の整備により、現道(国道56号)から大洲道路へ交通が転換したため、現道の交通混雑の緩和や走行速度が上昇し、その結果、大洲道路に並行する現道では渋滞損失時間が半減、全体(大洲道路の整備の影響を受ける範囲)では約100万人・時間/年が削減された。 断面の交通量は増加傾向にあるが、大洲道路の供用により交通が分散されたことで、現道(国道56号)の交通量は減少し、混雑度も下がっている。</p> <p>(2)所要時間の短縮 大洲道路の整備により、バイパス区間の所要時間が約9分と、現道(国道56号)に比べて約5分短縮し走行性が向上している。 大洲道路の整備により、片原町交差点で発生していた最大1,350mの渋滞が解消した。 現道(国道56号)の混雑時旅行速度は、大洲道路供用前の調査時に20km/h未満を観測した年があったが、大洲道路の供用開始以降は改善している。</p> <p>(3)バス路線の利便性の向上 大洲道路は朝夕の交通量の集中や右折車両による速度低下が無く、利用するバス路線の定時性向上に寄与している。 大洲道路および四国横断自動車道等の整備に伴い、新規路線が運行され利便性が向上した。</p> <p>(4)交通拠点へのアクセス性の向上 大洲道路の整備で現道(国道56号)の交通量が減少したことにより、大洲駅へのアクセス性が向上した。 大洲道路の整備に伴い、八幡浜・大洲地方生活圏、宇和島地方生活圏から松山空港へのアクセス性向上が図られた。</p> <p>(5)物流効率化の支援 ミカンほぼ全て陸路で運ばれており、大洲道路は迅速な輸送による鮮度の向上に寄与している。 水産物の県外への出荷は関西・関東方面が多く、迅速な流通で鮮度が向上し、荷傷みの発生が少ない高速道路を利用する。</p> <p>(6)土地区画整理事業の支援 大洲道路の整備による現道(国道56号)の交通混雑緩和、インターチェンジ周辺へのアクセス性向上で東若宮土地区画整理事業と柚木・北只土地区画整理事業を支援した。</p> <p>(7)四国8の字ネットワークの構築 大洲道路は高速自動車国道と並行する自動車専用道路(A'路線)に位置づけられ、四国8の字ネットワークの一部として機能する。大洲道路の整備により、人、モノ、情報の効率的な流れが確保され、広域的な連携を支える幹線道路ネットワークの完成に寄与する。</p>

道路28 国道56号の二次改築(愛媛県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
愛媛166	国土交通省四国地方整備局編「一般国道56号大洲道路(事後評価)」(平成21年度第3回事業評価監視委員会資料、2009年)、16-22頁	<p>国道56号大洲道路の事業効果</p> <p>(8)都市間の広域交流の促進 大洲道路は、四国横断自動車道と宇和島道路と合わせて、拠点都市である大洲市(八幡浜・大洲地方拠点都市地域)と宇和島市(宇和島圏地方拠点都市地域)を高規格幹線道路等で連絡するルート構成している。また、地方生活圏の中心都市でもある大洲市と、隣接する松山市、宇和島市を最短時間で連絡する区間の一部を構成し、これら都市間の広域交流の促進に寄与している。</p> <p>(9)地域間連絡の強化 大洲道路の整備により大洲市と他市町間の交通が円滑化したことで、地域間連絡が強化された。</p> <p>(10)地域のイベントの支援 大洲道路が整備され、南予地域へのアクセスが強化されることによって、大規模イベント(平成16年に開催されたえひめ町並博2004および平成29年開催予定の愛媛国体等)でのスムーズな運営や参加者の安全な移動を支援する。</p> <p>(11)観光施設へのアクセス性の向上 四国8の字ネットワークの南伸に伴い南予地域の観光入込客数は増加しており、大洲道路は四国8の字ネットワークの一部として南予地域へのアクセスを強化し、観光産業の活性化に寄与している。</p> <p>(12)第三次医療施設へのアクセス性の向上 市立大洲病院から三次医療施設である県立中央病院(松山市)に搬送する場合、大洲道路および四国縦貫自動車道の整備により、搬送時間が20分減少した。大洲道路の整備により、搬送時の揺れが解消され、患者や救急隊員の負担軽減や、より速く安全に救急患者を搬送することが可能となった。</p> <p>(13)安全性の向上 大洲道路の完成供用(大洲南IC～大洲北ICの4車線化)により、現道(国道56号)の混雑が緩和され事故件数が減少した。大洲道路完成供用後には、歩行者に関わる事故は約80%、車両相互の事故は約30%減少し、現道の交通量が減少したことで安全性が向上している。</p> <p>(14)災害への備え 大洲道路および現道(国道56号)は、第一次緊急輸送路に指定されており、災害時には緊急救急医療活動、被害拡大の防止、さらに避難者への緊急物資輸送等に大きな役割を担っている。肱川氾濫時には現道(国道56号)は浸水するが、大洲道路は浸水せず、緊急輸送路の分断を防ぐ。大洲道路の整備により、平常時、緊急時ともに安全・安心に利用でき、災害に強い緊急輸送ネットワークが形成された。</p> <p>(15)地球環境の保全 大洲道路の整備により、現道を含む周辺道路の旅行速度が上昇し、年間約3,700トンのCO2が削減された。</p> <p>(16)生活環境の改善・保全 大洲道路の整備によって、現道区間の混雑が緩和により旅行速度が上昇し、NO2およびSPM排出量が削減された。</p>

道路28 国道56号の二次改築(愛媛県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
愛媛187	国土交通省四国地方整備局編「一般国道56号五十崎内子拡幅(事後評価)」(平成23年度第5回事業評価監視委員会資料、2012年)、6-14頁	<p>国道56号五十崎内子拡幅の事業効果</p> <p>(1)渋滞解消 五十崎内子地区では、慢性的に発生していた渋滞が最大で600m(通過時間2分)に達していたが、4車線化や鳥越交差点の立体化により解消した。 渋滞解消などにより、内子五十崎ICへのアクセス性が向上。</p> <p>(2)所要時間短縮 五十崎内子地区の拡幅により、約2分の所要時間が短縮された。</p> <p>(3)混雑時の旅行速度の上昇 五十崎内子地区の混雑時の旅行速度は、平成12年の四国縦貫自動車道の供用や、平成18年の五十崎内子地区の拡幅完成により、供用前の36.3km/hから、49.0km/h(H22)に向上している。</p> <p>(4)安全性の向上 五十崎内子地区の整備により、道路構造令の線形を満足しない線形不良箇所(2箇所)が解消した。 また、鳥越交差点の立体化は動線の錯綜を減らし、安全性が向上した。 4車線化することで、遅い車を安全に追い越すことが可能となった。(大型車混入率10%以上)</p> <p>(5)交通事故の減少 五十崎内子地区では、線形改良や交差点の立体化等により、交通事故発生件数は供用前(H9)の31件から供用後(H22)には10件に減少し、死傷者数は供用前(H10)の44人から供用後(H21)には13人に減少した。 五十崎内子拡幅の整備により歩行空間が確保され、歩行者(お遍路さん等)の年平均交通事故件数が供用前(H8~H17)の0.8件から供用後(H18~H22)には0.6件に減少した。</p> <p>(6)大洲市へのアクセス向上 五十崎内子拡幅の整備により、内子町から町外へ通勤・通学する人の約6割(約1,500人)を占める八幡浜・大洲地方生活圏の中心都市である大洲市までのアクセス性が向上した。</p> <p>(7)内子町の観光施設へのアクセス向上 五十崎内子拡幅の整備により、内子町の主要観光地のアクセス性が向上している。</p> <p>(8)道の駅の取り組みを支援 五十崎内子拡幅の整備は、道の駅「内子フレッシュパークからり」への来訪者のほか地元農家のアクセスを向上させ、道の駅の取り組みを支援している。</p> <p>(9)第三次医療施設へのアクセス向上 五十崎内子拡幅の整備により線形不良が解消され、大洲市内の第二次医療施設(神南診療所)から松山市の第三次医療施設(県立中央病院)までの搬送時間が2分短縮され、救急搬送患者の負担・不安を軽減している。</p> <p>(10)地元農産物の出荷を支援 五十崎内子拡幅の整備によるICアクセス性の向上や荷傷みの低減など走行性の向上は、内子町の特産物であるしいたけやぶどう、柿等の農産物の出荷を支援している。</p>

道路28 国道56号の二次改築(愛媛県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
愛媛206	建設省四国地方建設局大洲工事事務所編「南予一大洲工事事務所50周年記念誌一」(建設省四国地方建設局大洲工事事務所、1994年)、38頁	<p>国道56号の二次改築</p> <p>南予にはたくさんの観光資源がありながら、交通が不便なため、観光面での整備の遅れが見られたが、余暇時代の到来とともに南予レクリエーション都市などが建設され、急速に道路整備が求められるようになった。その一環として行われたのが南宇和郡一帯の道路改築で、昭和四十七年の城辺・御荘バイパスを皮切りに、昭和四十八年には松尾バイパス、昭和五十一年には一本松道路、昭和五十五年には一本松・城辺局改の二次改築工事が着手され、順次供用された。</p> <p>また南予の核となる大洲市・宇和島市では、交通量の増えるのにもなつて市街地の混雑と渋滞が激しくなり、その解消を図るため、本格的な高規格道路である大洲道路、宇和島道路の事業が着手された。</p> <p>(中略)</p> <p>国道と平行する形で高速道路・四国縦貫自動車道が建設されているが、内子・五十崎インターチェンジ(仮称)から交通を円滑に分散導入し、鳥越交差点の線形を改良するため、五十崎・内子拡幅の事業が平成五年から開始されている。</p> <p>これらの道路は、将来、高速道路と一体となり、南予交通網の主幹となって人々の生活や産業・文化の発展に大きく貢献しようとしている。</p>
愛媛315	愛南町町史編纂委員会編「愛南町史」(愛南町、2018年)、567-568頁	<p>国道56号の二次改築</p> <p>昭和51(1976)3月には平城・城辺の商店街を迂回する城辺一御荘バイパス(城辺トンネル・御荘大橋含む)が完成し、昭和54(1979)年には一本松の商店街を迂回する一本松バイパスも完成した。昭和61(1986)年には城辺・一本松バイパス(蓮乗寺トンネル含む)が完成した。</p> <p>平成4(1992)年12月には内海トンネルと並行して、歩行者専用の「内海ふれあいトンネル」が開通した。これは昭和62(1987)年に統廃合によって閉校した、内海中学校生徒の通学の安全を図るため整備されたトンネルである。</p> <p>その後、南宇和郡内における国道56号の改良は、主に一本松町内の線形不良箇所の改良を中心に行われた。(中略)</p> <p>国道56号は、鉄道が敷設されていない愛南町において、人々の生活や文化、産業を支える大動脈としての役割を果たし続けている。</p>

道路28 国道56号の二次改築(愛媛県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
愛媛344	国土交通省四国地方整備局編「一般国道56号宇和島道路(事後評価)」(令和元年度第2回事業評価監視委員会資料、2019年)、5-12頁	<p>国道56号宇和島道路の事業効果</p> <p>(1)混雑解消 宇和島道路への交通の転換により、国道56号の慢性的な混雑が解消。津波岩松ICから宇和島北ICまでの17.5kmの所要時間は、開通前と比較して約30分(約6割)短縮。</p> <p>(2)安全性向上 宇和島道路の開通により、国道56号の交通量は宇和島道路に約4～6割が転換。宇和島道路の開通により、国道56号と宇和島道路を合わせた死傷事故件数は約1/3に、死傷事故率は約1/4に減少。</p> <p>(3)災害発生時の緊急避難路の確保 宇和島市は、南海トラフ巨大地震発生の約4分後に津波が到達し、最高津波水位は10.1m、津波浸水による死傷者想定は約千五百人と甚大な被害が想定されている。宇和島道路の開通により、津波浸水を回避し、広域道路啓開のための進出ルートを確保するとともに、宇和島道路では、津波災害時の緊急避難路3箇所と緊急進入路2箇所を設置しており、信頼性や安心の確保に大きく寄与している。</p> <p>(4)地域産業の活性化 愛媛県ではマダイの養殖が盛んで全国シェア第1位、全国の約6割を出荷。特に宇和島市・愛南町ではその9割を占める。高速道路の整備により、東京や大阪などの大消費地への販売が拡大。(中略)宇和島市の出荷額は開通前の約2倍に増加。宇和島道路は、主要産業を支える交通基盤として地域活性化に寄与。</p> <p>(5)地域医療体制を支援 愛南町の管外搬送率は約2割に達し、そのうち約7割が市立宇和島病院などの宇和島市へ搬送。宇和島道路は、搬送時間を短縮するとともに安静搬送を可能とし患者等の負担軽減に効果を発揮し、地域医療に大きな役割を担っている。</p> <p>(6)インバウンド観光を支援 宇和島港は西日本クルーズの中継地として好立地。変化にとんだリアス式海岸や宇和島城などの風景も人気の要因。高規格幹線道路の整備により、所要時間の短縮・定時性が確保され、宇和島港から周辺観光地への様々なオプションツアーが実現可能となった。</p> <p>(7)地域経済の活性化を支援 地域の主要拠点である「道の駅きさいや広場」では、宇和島道路の整備とあわせて、レジ通過人数・売上実績も増加傾向。道路延伸による所要時間の短縮に伴い、松山方面からの来訪者、日帰りドライブ目的での来訪者が増加し、中予～南予地域の交流人口が拡大。</p>